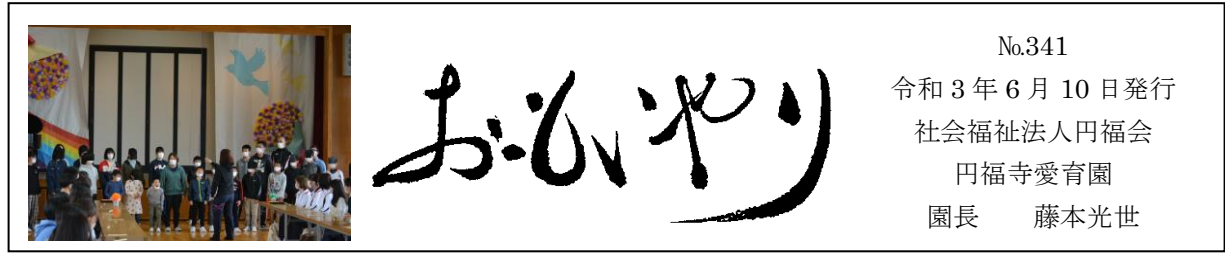


施設見学会に多くの方々に御来園頂きました。子ども達は箸ピーを披露しました。



おもいやり 6月号 自己実現

園長 藤本光世

今から約 25 年前の屋代高校の教頭の時のお話です。屋代高校には理数科があります。平成 6 年の全国理数科大会に出席した学校長が、持ち帰った資料を見せてくれました。それは宮崎西高校の宇田津一郎校長先生の学校経営でした。驚きました。すごいなあ、こんなすごい実践をされる校長先生がいる。もっと知りたい、宇田津校長先生にぜひお会いしたい、教えてもらいたい、学びたいと思いました。それで、翌年の全国理数科大会の出張をお願いしました。宇田津先生はどんな方か、お顔さえ分かりません。出張した方が言いました。宇田津先生は全国大会で必ず発言しますよ。

その通りでした。発言が終わって、名刺をもってとんでいきました。以来、今日まで懇意にご指導をいただいています。

愛育園では一年間の実践の記録を冊子「愛の花園」にまとめています。これは宇田津先生から教わったことです。宮崎西高校の「光みなぎる丘」の実践記録冊子は、もっと分厚くすごいものでした。その実践は国公立大学に現役で 400 人もの合格者を出していたのです。

宮崎西高校に創設の言葉があります。

創設のことば

本校に学ぶ者はかけがえのない
自己を尊重し自己を伸ばすために
全力を傾注しなければならぬ
まず自分の中にある自分の知らない
自己を発見するため全力でやってみる
ことある。自分を発見するための
努力を怠る者は未知の我が
かたに素晴らしい我がふるまふに
生きたことになり残念である
この未知の我を求めて全力をつとめよう

星野重吉 書

Figure 1 宮崎西高校ホームページより

自分の知らない自己を発見するには、勉強を努力しなければなりません。子どもたちは自分の中にある可能性を知りません。勉強したこともありません。心が本当に弱いので、努力する時間と場と雰囲気を作ってあげないと、努力しません。俗人閑居為不善です。でも今は、愛育園に入所した児童はしっかりした日課（基本的生活習慣）が身につけて、毎日勉強できるようになりました。愛育園に来て、生まれて初めて勉強したという子がいます。勉強をして、未知の我に出会う努力をすることは、幸せになる第一歩です。幸せとは、人がくれるものではなくて、自分でつくるものだから。

一学期の中間テストが終わりました。子どもたちの努力を称えました。結果は後からついてくるものです。努力することが大切と励ましました。大きく点数を伸ばした子もいましたよ。野球部に入っている子がいます。活動のための道具を買ってもらおうとお願いに来ました。「文武両道でがんばります。買ってください。」「具体的にはどんなこと?」「野球は全国大会出場です。勉強は・・・220点を越えます」少し、自信がなさそうです。「勉強の目標が低いなあ。そんなので良いの?」「**250点取ります!**」今回のテストで彼は、なんと 250 点をかなり超えました。テストの翌日の夕食のとき、ルンルン笑顔で私のところへ近寄って来ました。他にも大きく点数を伸ばした子がいました。学習指導の上垣先生も、勉強をするようになりましてねと褒めてくださいました。

子どもたちが未知の我を求めて、毎日の生活に全力で取り組みますように。

アフターケア

施設を出た子のアフターケアが、各施設に求められています。親の支援が望めない子どもたちは、施設を出ると独りぼっちです。支えてくれる人はいません。だから、県は自立支援担当職員の配置を計画しています。でも、施設を離れた子に、職員の言葉が入るのでしょうか。そのための有資格者であっても、子どもにとって知らない大人の忠告や支援の言葉が入るのでしょうか。生活の改善が期待できるのでしょうか。

愛育園のアフターケアは違います。愛育園で生活する間に、子どもと愛育園と心のつながりをつくることです。心のつながりは、職員が子どもに迎合してはできません。子どもの幸せを願い、子どもが未知の我に出会うように努力するように支援し、ある時はぶつかり、その中で作るものです。そのような心のつながりが無ければ、言葉は入りません。生活の改善は見込めません。子どもは、切れた風船のようにどこかへ飛んで行ってしまおうでしょう。

卒園してからの心のつながりを「毎月のお手紙」でお願いしました。手紙が来る間は大丈夫です。3月の卒園生から5月に届いたお手紙を紹介しましょう。

『拝啓

新緑の美しい季節になりましたが、いかがお過ごしですか。近頃は雨も多く梅雨に向けて本格的になってきているのではないかと感じます。

さて、園のみなさんお久しぶりです。元気にしていましたか? Yはとても元気に短大生活を送っ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ています。学校生活にも慣れ、友達と楽しく過ごしています！

最近の報告としては、初めてオープンキャンパススタッフになって実際にやってみたことです。実際にやってみて、1年前がすごくなつかしく感じました。他にも、高校生方や保護者の方への対応など、今まで学んだことのなかったことを学ぶ機会になりました。

他にはサークルに入会しました。

前はダンスサークルに憧れていたものの、私には違うのかなと思い、幼児教育学科1年だけで作った野外活動サークルに入会しました。野外でピザを創ったり焼き芋をやったり巨大パフェづくりなどを行う活動です😊

寮生活もすごくワイワイして過ごしています。1年生同士は仲がよくていつもにぎやかです。園にいた時と雰囲気似ているのでとても楽しいです。寮食も美味しく、毎日が楽しみです。

園の子が「Ｙちゃん元気かな？」って心配してたよってという連絡が来るととても嬉しくなります。みんなが頑張っている報告を聞くとＹも負けなように頑張らなきゃって思うことができます。園のみんなＹにとって元気や勇気をくれる源だと思います！！ 本当にありがとうございます！

(中略)

最後に、園のみなさんは毎日明るく前向きにたくさんの方に挑戦してってください。コロナが収まったらまた元気な姿をみせにいらいたいと思います。

今回の手紙はまとまりがなく、読みずらくてごめんなさい。けど、6月のお手紙でもたくさんの報告をしたいと思っているので楽しみにしてください。

これからも体調に気を付けて毎日を過ごしてください。Ｙも頑張ります。

敬具』

『小満を迎えていよいよ夏が近く感じられる時期となりましたが、いかがおすごしですか？卒園して、早くも2カ月以上が経ってしまいました。一人暮らしも落ち着いてきて、大学のレポートや部活動にも少しずつ慣れてきました。対面での授業はほとんどないのは変わりません。自宅でのリモート授業で成績が決まってしまうので、必死に取り組んでいます。その中で、今一番頑張りたいと思っているのがフランス語です。6月に入るとロシア語の勉強が始まってしまうのですが、定期テストが6月の初めのほうにあるので、それに向けて頑張っていますが、よくわかりません。英語と似ているのですが、発音とか音声を聞いただけでは全くわかりません。あと少し勉強に取り組みたいです。部活では週に3日頑張っています。少しずつ慣れてきて、そろそろ楽しくなるかと思いましたが、投げる時に、右肩が痛くて振り切ることができなくて、痛みをこらえながら毎回の練習に取り組んでいます。いつか治る！！そう思い、楽しい気持ちでハンドボールをしています。最近の新潟県は、天気が悪くてあまり良い気持ちではありません。それでも、僕が思っているほど、じめじめしてなくて、とても過ごしやすい晴れの日が多かったので良かったです。歩いて数分の

(令和3年6月10日発行 月刊「円福」489号付録)

ところに海があり、砂浜があるので、友人と言って遊んだりしています。あと少しで19歳の誕生日を迎えます。祝ってくれる人が園にいる時よりも少ないし、あんなに多くのご飯が食べられないので悲しいです。でも、頑張って美味しいものをつくろうと思っています。(中略) また、用事があれば園に顔を出そうと思っているのでよろしくお願いします。来月にまた手紙を書きます。』

職場の雰囲気 職場の人間関係

5月2日の見学会で、参加者にアンケートをお願いしました。その中に就職先を選ぶ基準は何ですか？という設問を設けました。最も高かったのは、賃金や休日数ではなくて「職場の雰囲気」(78%)でした。

仕事のどんなことに不安を感じますかという設問も作りました。最も高かったのは「職場の人間関係」(71%)でした。

学生の皆さんが、就職してからの雰囲気や人間関係が心配で気になっていることが分かりました。離職の原因としては、仕事そのものの辛さや厳しさではなくて、職場の人間関係が最も高かったことを思い出しました。

愛育園の職場の雰囲気はどうでしょうか。

先日、ある児童のことで、臨時まごころホーム会議を開いてもらいました。とってもいい雰囲気でしたよ。私は、ほとんど話さず聞いていただけでしたが、それぞれの職員が隠さずにいろいろなことを話せ、難しい対応であるのに笑顔がある、そんな会議は本当に素晴らしいと思いました。

昔のホーム会議というと、ホーム長からの指示伝達が主であったように思います。他の職員が子どもの対応で困っていることを話すと、それに対してホーム長や基幹的職員が「こうしたらどう」と話す。一方通行であったように思います。それが、みんなで話し合う。みんなで一つのテーマを考えあう。困っていることや悩んでいることを話し、自分に置き換えて考え、分かち合う。とても良いと思いました。見学会で愛育園は温もりのある大きな家庭と話しました。ホーム会議も温もりのある場であることが基礎になって、愛育園全体が温もりある家庭になっていると思いました。

職場の雰囲気 最高！！ 職場の人間関係 最高！！

施設見学会

主任保育士 石崎早織

5月2日に初めて学生に向けた施設見学会を行いました。当日は様々な学校の学生の皆様に来ていただき愛育園で行っている取り組み、現場で働いている先生方の体験談、そのあとに子ども達の交流会を行わせていただきました。児童養護施設を知ってもらう機会が少ない中で、児童養護施設は

どんな役割があるのか等、直接お話しし、知ってもらえる機会を設けることが出来てとてもよかったです。また何よりも良かったのは子ども達と交流会ができたことです。愛育園の子ども達の明るく元気な姿を交流会を通して知ってもらえ、そして子ども達の歌声が学生の皆様の心に響いたことがとてもよかったですと感じます。今後も見学会やインターシップを通して、愛育園の事を知ってもらええるよう頑張りたいと思います。



ホーム食 あおぞら



あおぞらホーム 畔上裕吾

5月3日にあおぞらホームでGW行事としてホーム食を行いました。今回のメニューは、揚げ物をメインとして唐揚げ、フライドポテト、オニオンリング、アメリカンドック、デザートにはホットケーキを作りました。唐揚げは鶏肉に下味をつけることから始め、衣をつけて揚げる過程まで子どもたちが行いました。唐揚げ以外にも、アメリカンドックやフライドポテトなどを揚げていますが、揚げたてを食べたいのと、とてもいい匂いが充満しているのでつまみ食いをする小学生が続出していました。フライドポテトは紙袋に入れて、ガーリックパウダーを入れたり、それぞれがお好みのパウダーを入れて振ったフリフリポテトを作りました。フライドポテトをそのまま食べるのではなく、子どもたちが自分の好みに合わせて、楽しく食べることができのではないかなと思います。子どもたちが揚げた揚げ物は、ただお皿に盛り付けるのではなく、お弁当の容器に盛り付け、ご飯を敷き詰めて揚げ物弁当へと変貌しました。お皿からお弁当の容器に移し替えるだけで、とても雰囲気が出てより食事を楽しむことができたのではないかなと思います。

デザートにホットケーキ作りをしました。揚げ物を作っている時に同時進行でBBQコンロを準備し、火を起し、ホットサンドメーカーに生地を流し込み、火加減を調整しながら子どもたちと職員で焼き上げました。焦げてしまうこともありますが、またそれが味となり、手作り感を味わえるものとなりました。

GWの最中にはありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり外出はできませんでした。ですが、今回のホ



ーム食も準備から後片付けまで子どもたちが協力し合い、良いホーム食となったのではないかなと思います。

ホーム食 まごころ



まごころホーム 宮澤穂香

今年のGWの5月3日にホーム食を行いました。みんなでおかずクレープとオレオチーズケーキを作りました。私は、小学2年生と高校1年生と野菜の下準備、クレープの生地作りを一緒に行いました。レタスを洗ってちぎるのは、初めてだったようでやり方が分からず苦戦していましたが、やっていくうちに「楽しい！葉っぱはすぐちぎれるんだね」と言いながら準備してくれました。ピーラーでの皮むきも上手でした。

生地作りは、人数分の量がとても多く、子ども達も混ぜるのが大変そうでしたが、職員が混ぜるのに疲れて休んでいるのを見て、「先生は休んで。その間に僕が混ぜるね」と言って一生懸命混ぜてくれ、思いやりがあって優しいなあと嬉しくなりました。

野菜やお肉、具沢山でみんな口いっぱいにはおぼっていました。「この組み合わせが美味しい！」と大喜びでした。デザートもさわやかで子ども達は満足でした。

今年のGWも思うように動きが取れず、子ども達も悲しかったり残念に思った子もいたと思います。その中で、少しでも園の中で楽しく過ごせたり、思い出を作っていけたらと思います。

少年野球 交流戦



あおぞらホーム 金井雄大

4月から新体制となり、初めての試合が5月1日にありました。自分も、監督として初めて試合をみさせてもらい、子ども達の頑張る姿がありました。

一試合目は、打線が爆発し大量に得点することができました。5年生のS君はほとんどの打席でヒットを打つことができ、2年生のY君はタッチアップ等小さいながらもよく考えて動いていました。ただ、最後の

回到にフォアボールが続き、ヒットを打たれ逆転されてしまいました。惜しくも負けてしまいましたが、いい経験になったと思います。

二試合目は、一試合目に出れなかった子も、全員出て試合を行いました。5年生のS君と2年生のY君は外野を守り大きな声で「バッチコーイ！」と言い全体の雰囲気を盛り上げてくれました。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

プレーが上手なくても一生懸命にプレーする姿はとて
もかっこよかったです。この試合も負け、新チームでの試合
は負けスタートになってしまいましたが、それぞれの子
が、試合に出るには為に必要な事を感じられたいい経験に
なったと思います。



その後の練習でも、声を出して積極的なプレーだつたり、
フライのとれなかった子が取れるようになったりと、
子どもの成長はとっても早く感じます。6月にも大会があるので、それに向けて子ども達と頑張っ
ていきます。

母の日の会



あおぞらホーム 山田忍
5月9日に愛育園では「母の日の会」がありまし
た。
日頃、子供たちのお「お母さんに」なってくれて
いる女性の先生方へ一年間の感謝と
これからもよろしくお願ひしますという気持ち
を込めて今年も開催することが出来ました。
あおぞらの高校生達を中心になって「パラコード」
というロープでキーホルダーを作り、まごころの

中高生たちが中心になってペットボトルホルダーを作りました。器用な子もいれば細かい作業が苦
手な子もいましたが途中で諦めずにみんなとても頑張って作っていました、まごころの子たちには

メッセージ色紙のデコレーションもお
願ひしたところ喜んで引き受けてくれ、
さすが女の子だけあってとてもかわい
らしい色紙が出来上がりました。

調理の先生方も夕食にオムライスを作
ってくれて子供たちのテンションも上
がっていました。毎年、女性の先生方に
気づかれないようにこっそり制作して
いる事も子供たちにとっては楽しいよ
うでいい時間だな、といつも思ってい
ます。



(令和3年6月10日発行 月刊「円福」489号付録)

よもぎ団子作り

あおぞらホーム 大山豊彦

5月16日に小学生達とよもぎ団子作りをしました。最
初にみんなで白玉粉のだまを細かく潰してから、片栗粉
やお水を足していき、大きな生地を作っていました。
大きなボールをみんなで囲みながら、一生懸命生地をこ
ねる姿にとて癒されます。その後よもぎを入れて団子に色付けをしていくのですが、子どもの力
では大きくなった生地を上手くこねることができず、私も一生懸命お手伝いさせてもいま
いした。
よもぎ団子作りは、初めてやる子もいれば「もう3回目だよ」という子もいて、特に高学年の子
たちは、率先して団子を丸めたり、茹でる仕事をしてきてとてもスピー
ディーに作ることができました。完成した後は、よもぎ団子に餡子
ときな粉をかけてみんなで美味しく食べることができました。



このよもぎ団子作りは、季節の変わり目である端午の日に、病気や
厄災を避ける為に日本で行われてきました。愛育園の子ども達も学校
生活には慣れてきましたが、季節の変わり目と言うことで、よもぎ団子
を食べて病気もせず、元気に学校に通って欲しいと思います。まだま
だコロナが収まらない現状ですが、私たちも健康管理に気を付けて今
後も頑張っていきたいと思ひます。

花まつり

あおぞらホーム 金井雄大

5月5日の夜、お寺の方でお参りがありまし
た。お昼過ぎにまごころの子たちがお花を準備
してくれていました。お寺では子ども達と
一緒にお経を読んだ後、園長先生から、仏さ
まのお話がありました。子どもたちは静かに
聞き、その話の中で人は皆尊い人と話さ
れ、子ども達は自分は尊い人かどうか聞かれ
ると、恥ずかしがり首を横に振っていま
したが、自分という人間はただ一人で誰にも代
えがたい存在というのが、大きくなってからで



も子ども達が理解してもらえればと思います。夕食の時には、甘茶やお赤飯などが出て、子ども達もとても喜んで食べていました。

あおぞらホームだより



あおぞらホーム 石龍成己
新年度が始まって2ヶ月が過ぎました。今月は新年度最初の定期テストが中高生でありました。特に中1にとっては最初のテストということもあり、緊張や不安もありながらテスト勉強をしました。あおぞらの中1は3人いますが、全員夜の学習時間頑張っており取り組みました。科目ごとのワークの提出があり、宿題と並行しながら進めていくのは大変だったかと思いますが、テスト1ヶ月前から予定を組み、積み重ねて勉強していきまし

た。テストが終わると、どの子もできた、90点取れるかもと話をしていたと思います。予定を守って取り組めた達成感があるのかなと思います。頑張ったことは認めてあげ、それでも採った点数は現実として受け止めさせ、次のテストへ向けさらに勉強を頑張らせたいと思います。

小学生は運動会の日が迫っており、学校は特別日課で生活しています。朝から練習があって、体育着登校する子もいて、毎日忙しいようですが、それでも日々の生活を怠らず、朝は早く起きて、帰園したら宿題に取り組む、少年野球の練習に参加するなど、ルーズにならず生活を送れています。6年生のK君は、小学校最後の運動会となります。コロナの影響であまり密になったり、派手な演技はできないみたいですが、それでも気合いを持って毎日練習しているのが話や表情から伝わってきます。他の子たちもK君の姿を見て、日々の生活を頑張っているように見えます。私も小学校の運動会がとても楽しみです。

これから暑い日が続いて来ることはと思いますが、熱中症・コロナ感染予防に努めながら、子ども達の生活をみていきたいと思っています。



まごころホームだより

中村茉莉歌

あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り替わりました。少し汗ばむような暑さの日にも子ども達は元気に過ごしています。



最近まごころの中高生の中でミサンガ作りのブームが来ているようで、最初は単純な作り方をやっていましたが今では複雑な作り方もすぐ覚えて難く作ってしまい驚きを隠せません。いつの間にそんな難しいのを作れるようになったの？と聞いても、こんなの簡単だよと余裕のある答えが返って来ます。他にも編み物などにも挑戦し小物入れを作ってみたりペンケースを作ったりと手先の器用な子が多いです。他の物は作れないの？他の編み方はあるの？などとても意欲的で

す。

幼児や小学生は暑い日でも外を走り回り元気に遊んでいます。小学2年生のRさんは最近渡り棒でただ渡るのではなく、棒の掴み方を変えてみたり一つ飛ばしで渡ってみたりと、色々なやり方に挑戦しています。他にも逆上がりの練習もしてどうやって掴んだらやりやすいか、どちらの足を出した方が良いのかを自身で考えています。少しでも出来るようになる嬉しそうに報告をしすぐにやって見せてくれます。

子ども達と一緒に活動をする中で小さな出来るようになったから大きな出来るようになったまで共有し合えるといいなと思います。

気候の変化はありますが、体調管理に気を付けながら今月も楽しんで過ごして行きたいと思っています。



調理室だより

調理員 川澄保美

梅雨に入り、ジメジメした日が続く、温度差が激しい毎日ですので体調管理には十分に気を付けて毎日の食事作りを頑張りたいと思います。

5月3日 ホーム食

5月5日 創立記念メニュー

お赤飯、花麩のすまし汁、鶏の唐揚げ、茶碗蒸し

5月9日 母の日の会

オムライス、サラダ、フルーツの盛り合わせ

子供達から心のこもったプレゼントをいただきました。

5月14日 S君誕生日メニュー

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和3年6月10日発行 月刊「円福」489号付録)

手巻き寿司、カミカミサラダ、スペシャルパフェ

5月16日 よもぎ団子作り

小学生が一生懸命、手作りしておやつにおいしそうに食べていま

